

千葉県漁業就業者の状況について — 第13次漁業センサスから —

千葉県農林水産部水産局水産課

千葉県漁業経営体数(H25)

経営体数		千葉県		全国	
沿岸漁業層	海面養殖	251	10%	14,960	16%
	養殖以外	2,127	87%	74,163	78%
中小漁業層		63	3%	5,342	6%
大規模漁業層		—		57	0%
計		2,441		94,522	

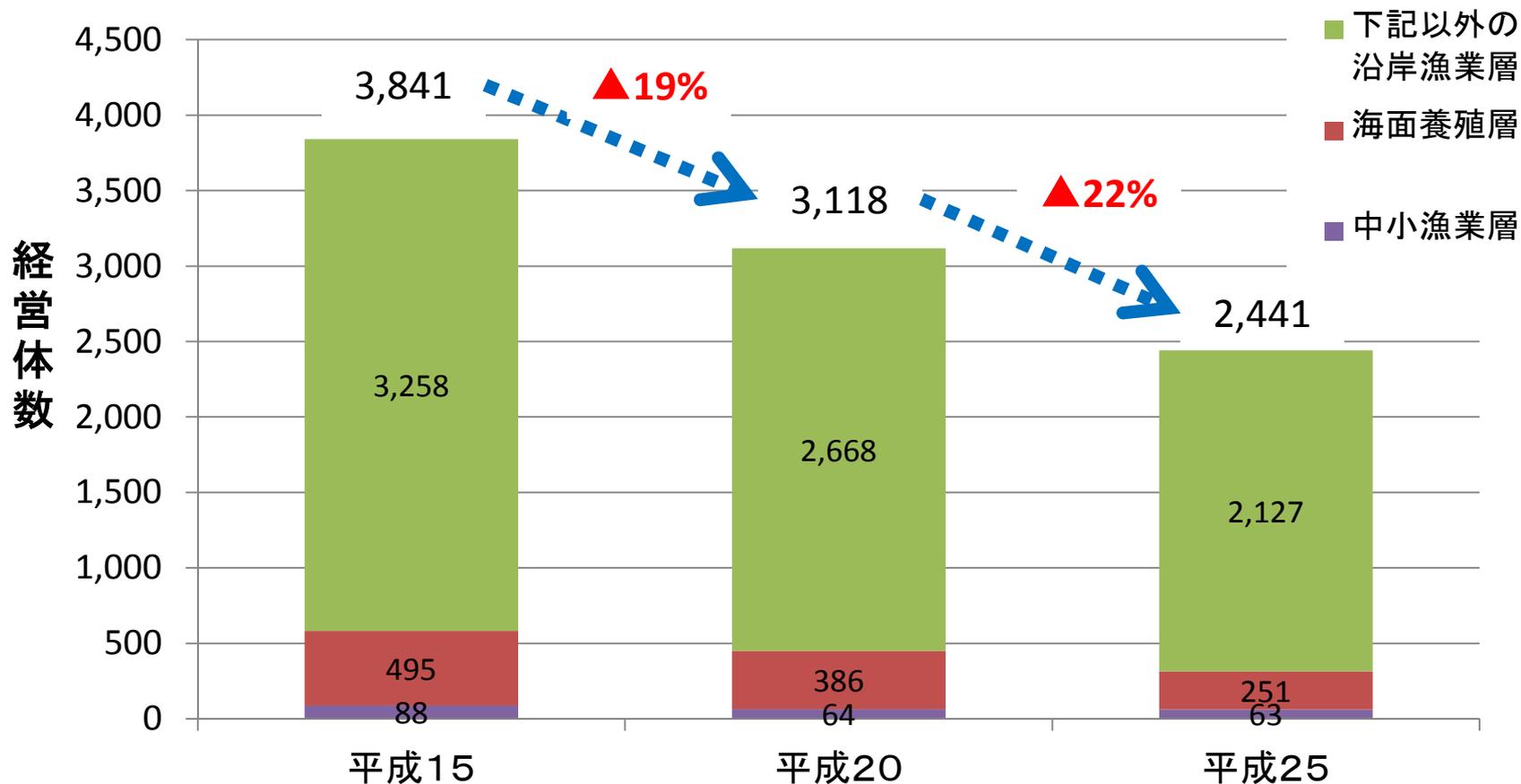
千葉県はほとんどが沿岸漁業層。

千葉県漁業就業者数(H25)

	千葉県		全国	
	自営漁業 のみに従事	3,115	66%	109,291
漁業雇われ	1,619	34%	71,962	40%
計	4,734		181,253	

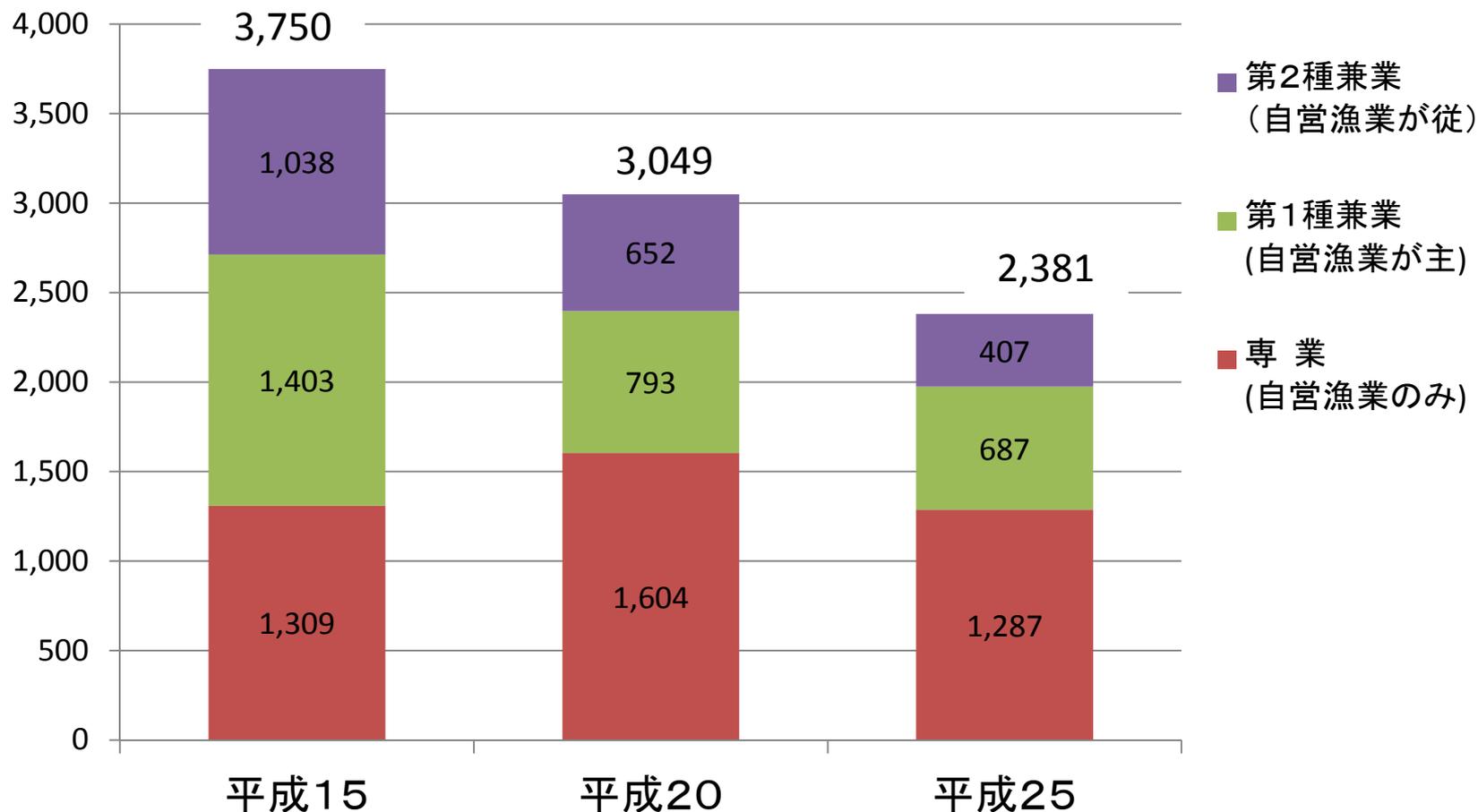
千葉県は自営漁業の割合が高い。

漁業経営体数の変化①



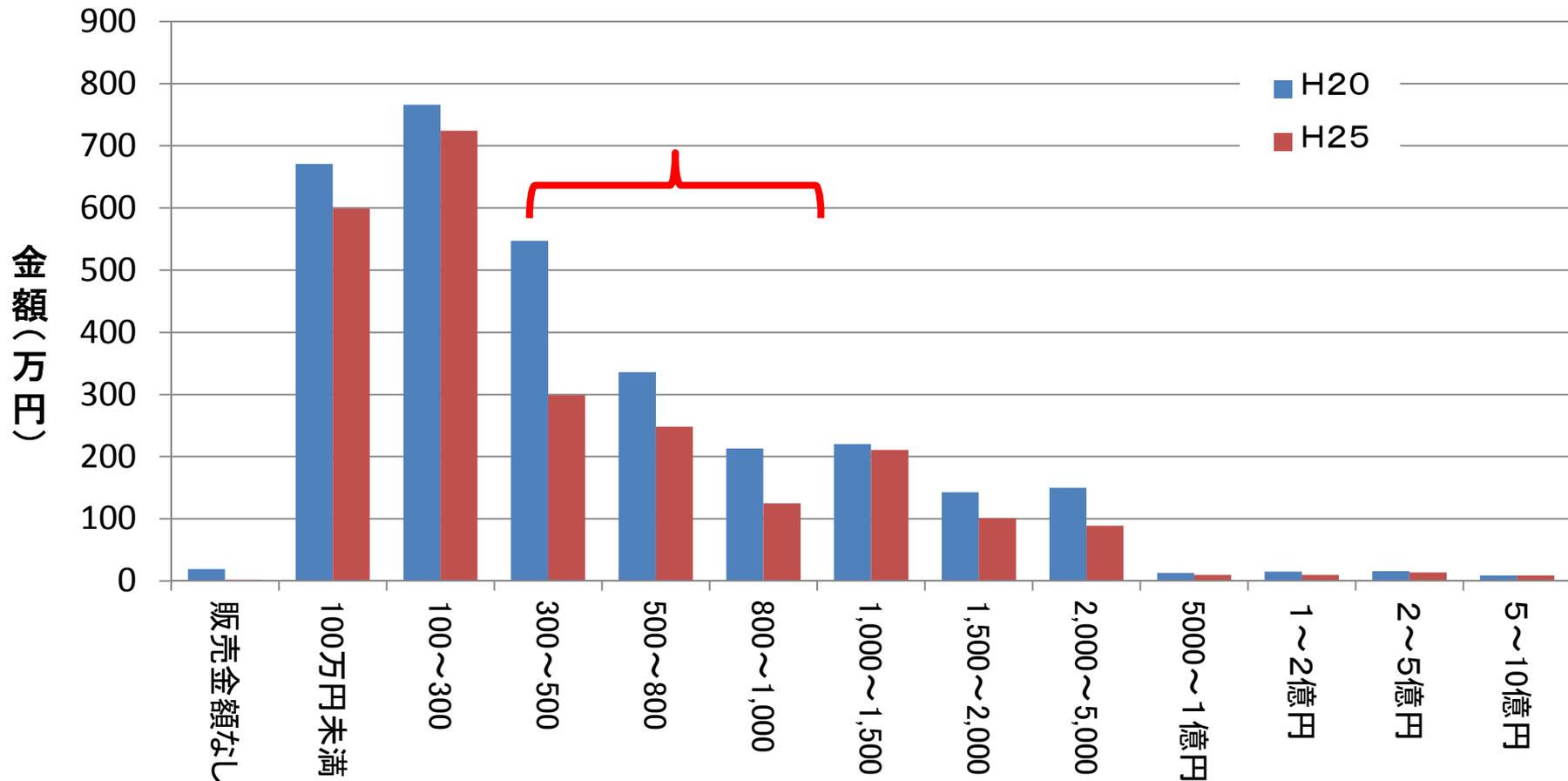
千葉県の漁業経営体は5年ごとに約20%減少。
海面養殖の減少はノリ養殖業。

漁業経営体数の変化②



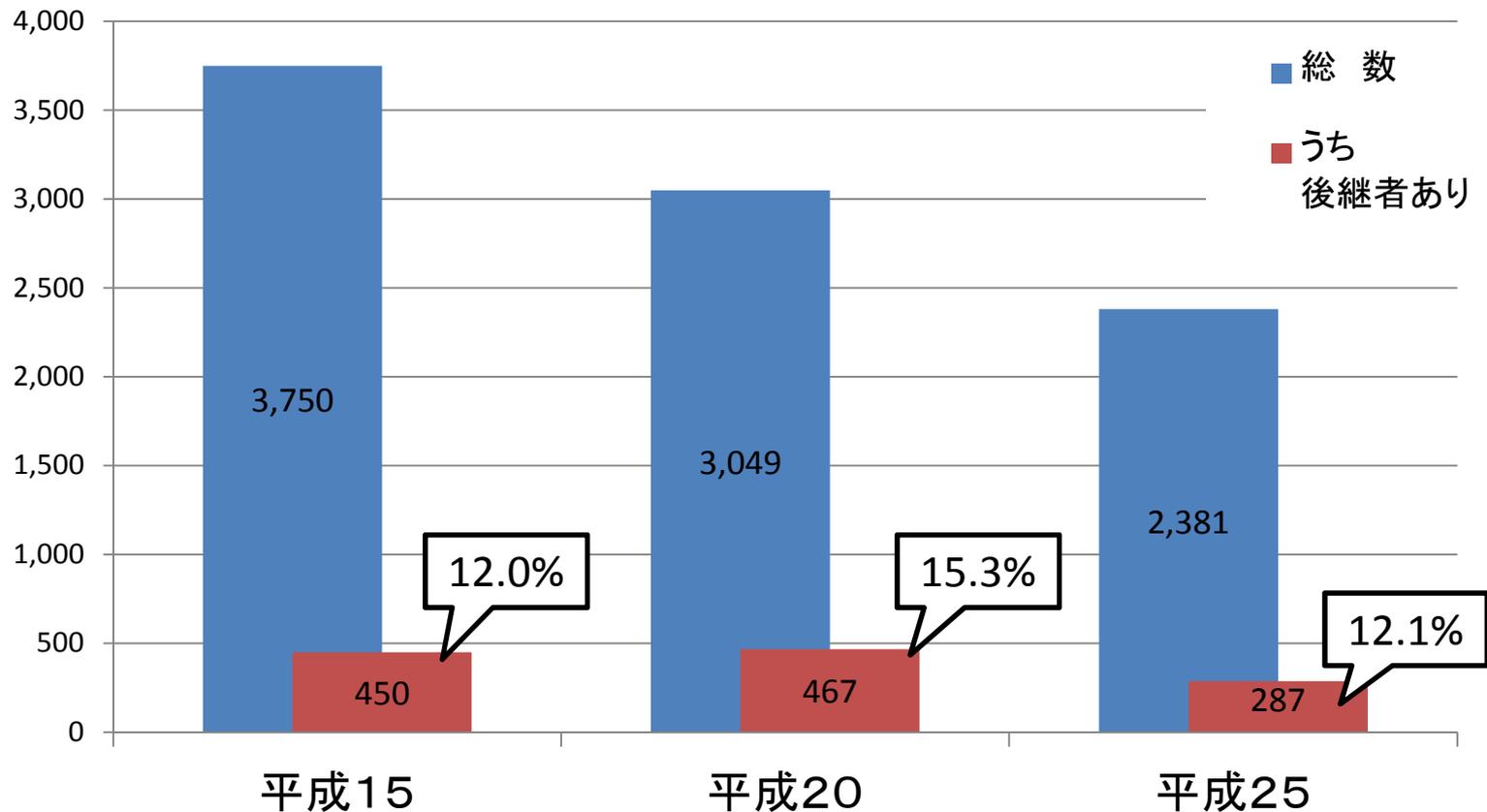
兼業漁業者が大きく減少。専業者は10年前と同程度。

漁獲販売金額別の経営体数



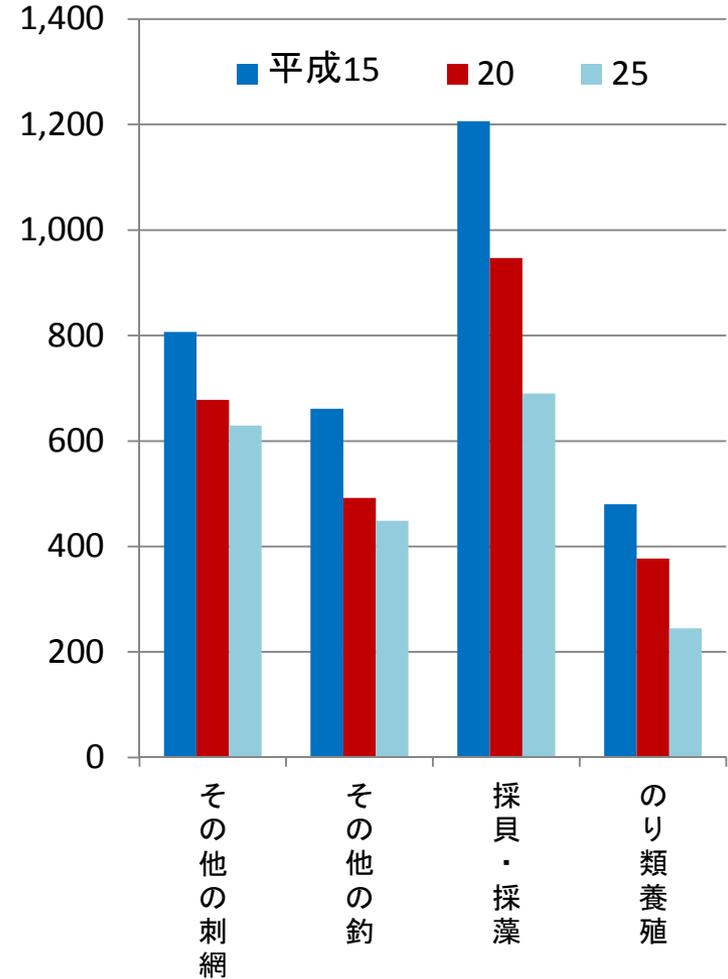
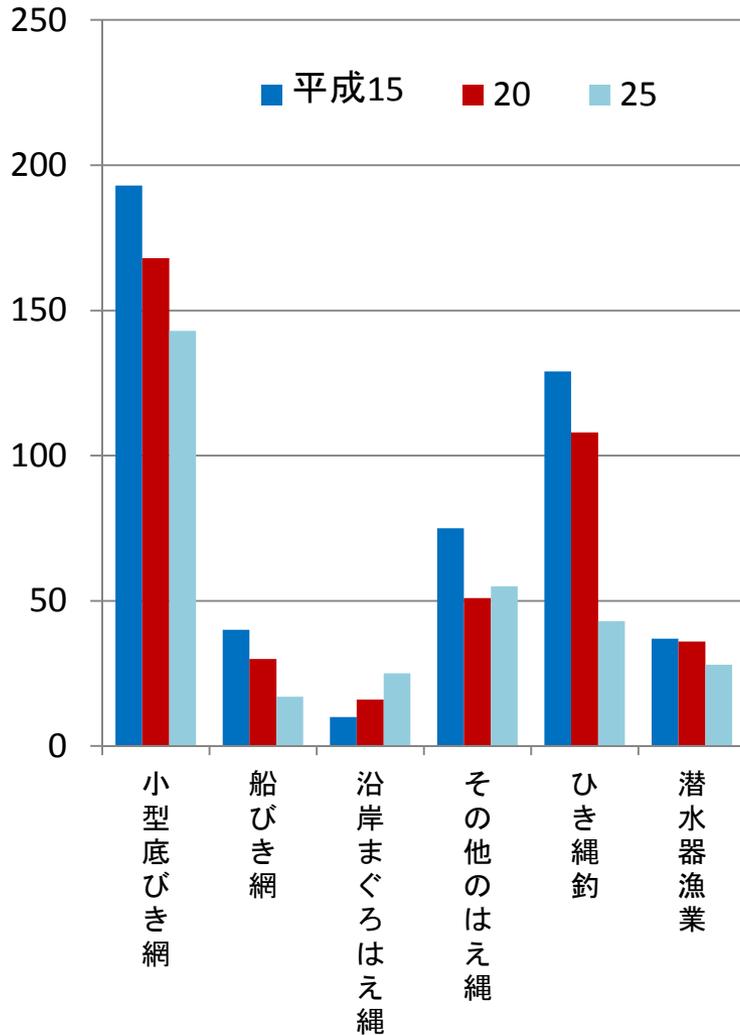
300~1,000万円層が大きく減少。

漁業経営体の後継者数



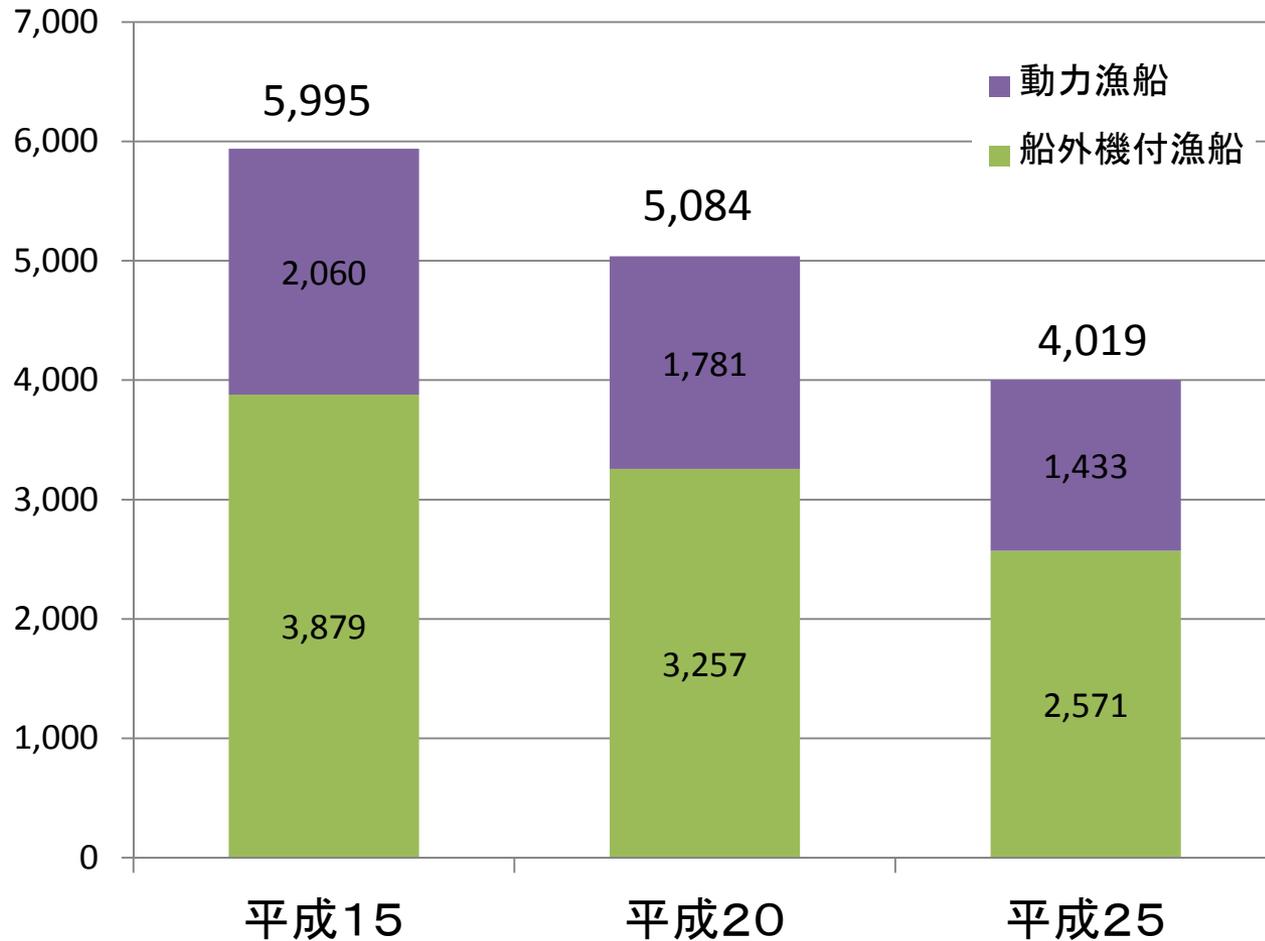
後継者のいる経営体はH20→H25に大きく減少。
しかし、全体の比率はほぼ同じ。

漁業種類ごとの経営体数の変化



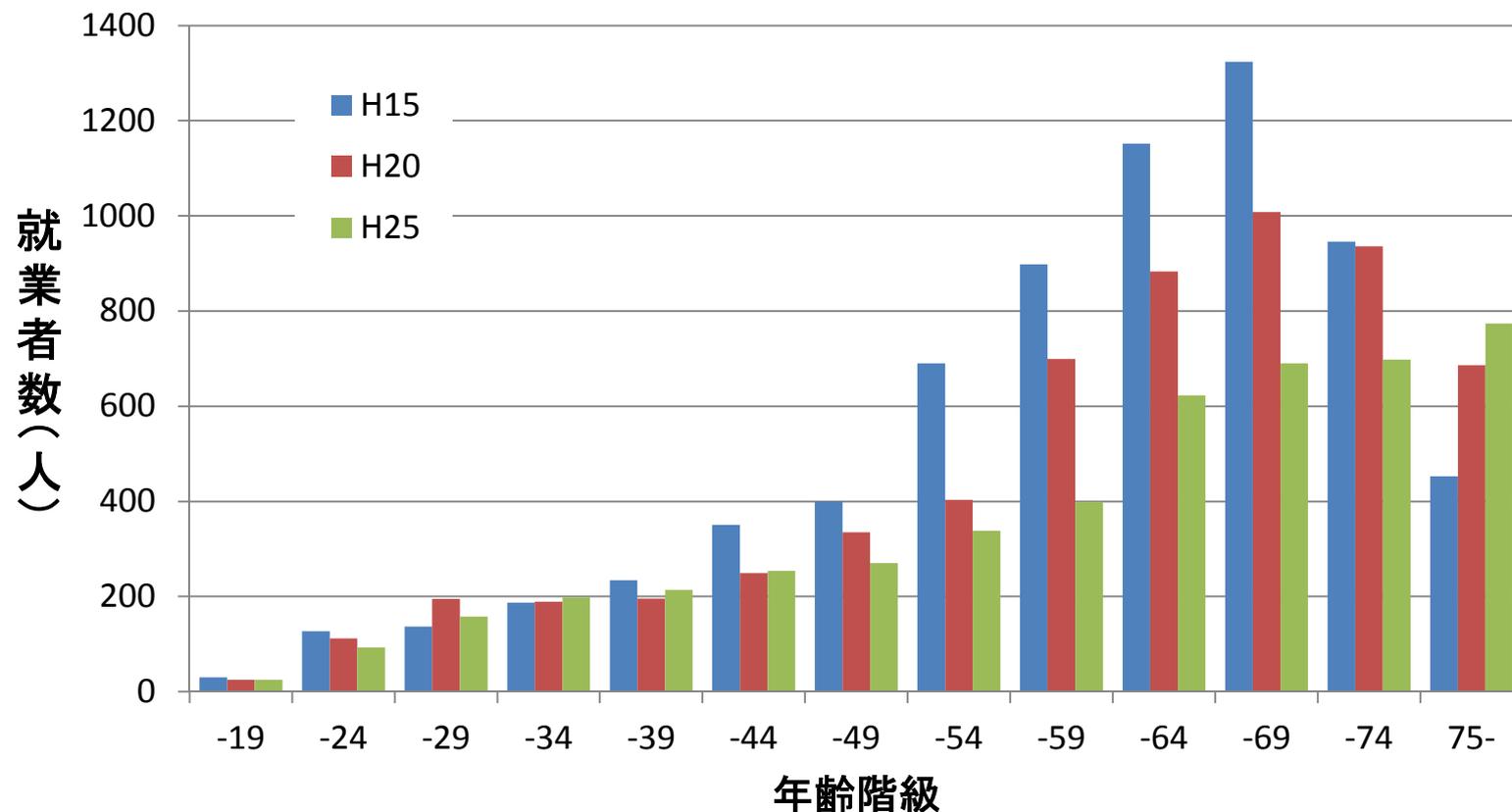
ひき縄、のり養殖が減少→経費がかかる漁法
採貝・採藻が大きく減少→高齢者の引退

保有漁船数の推移



H15→H25にかけて動力船30%、船外機は34%減少。

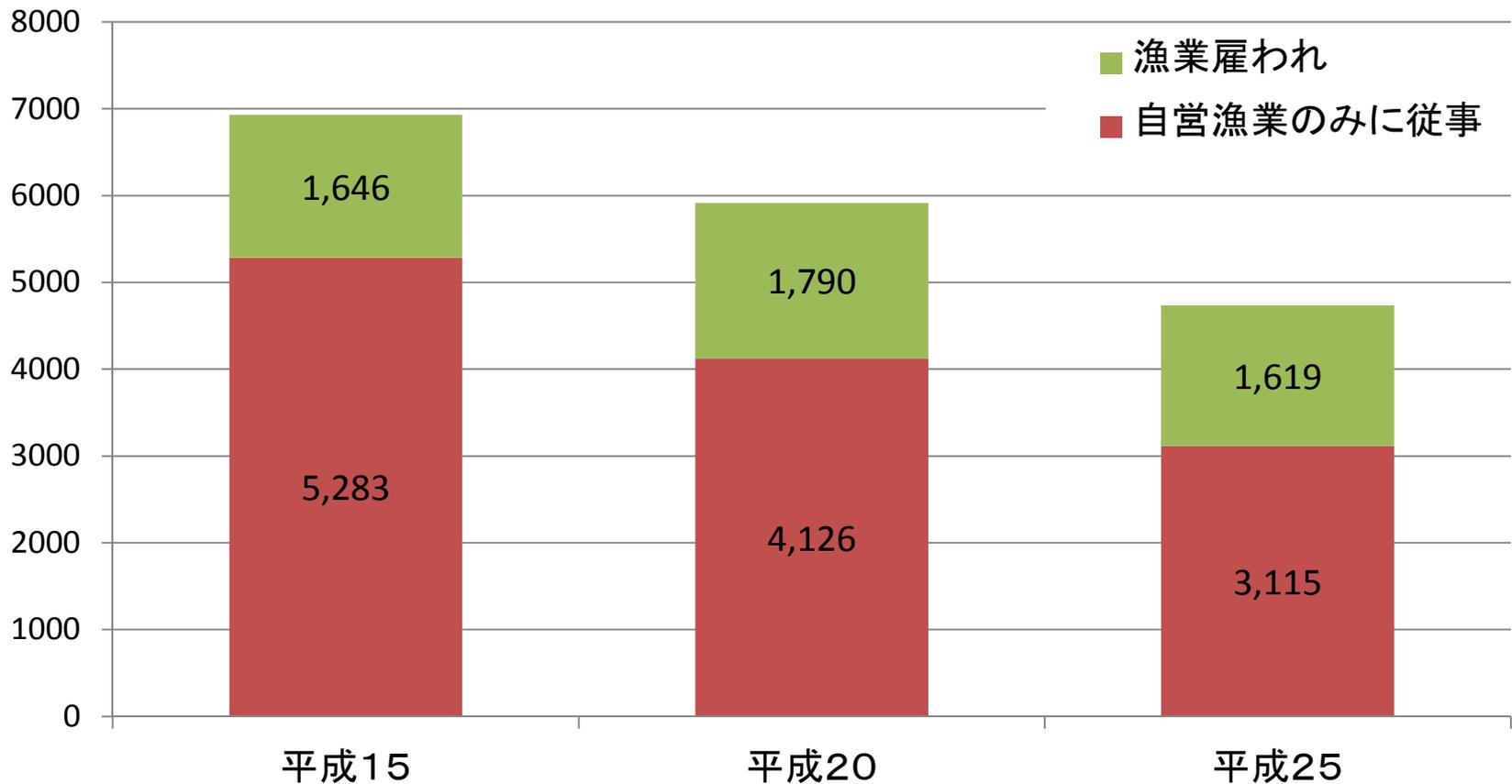
漁業就業者の年齢構成



◆ H15にすでに60-64才がピーク。
→10年後(=今)、この層が順次廃業へ。

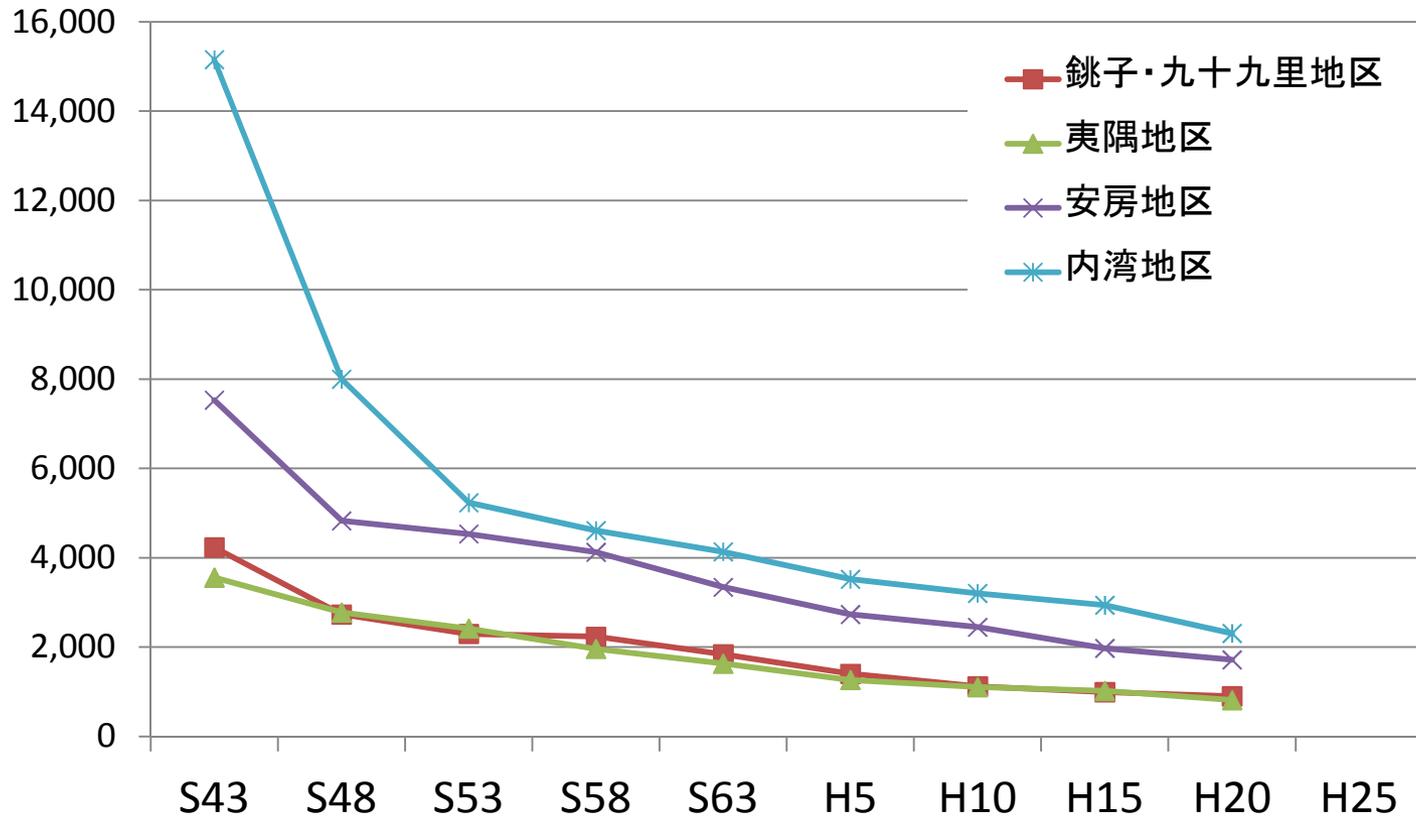
◆ 75才以上が増加→就業年齢の長期化

自営・雇われ別漁業就業者数



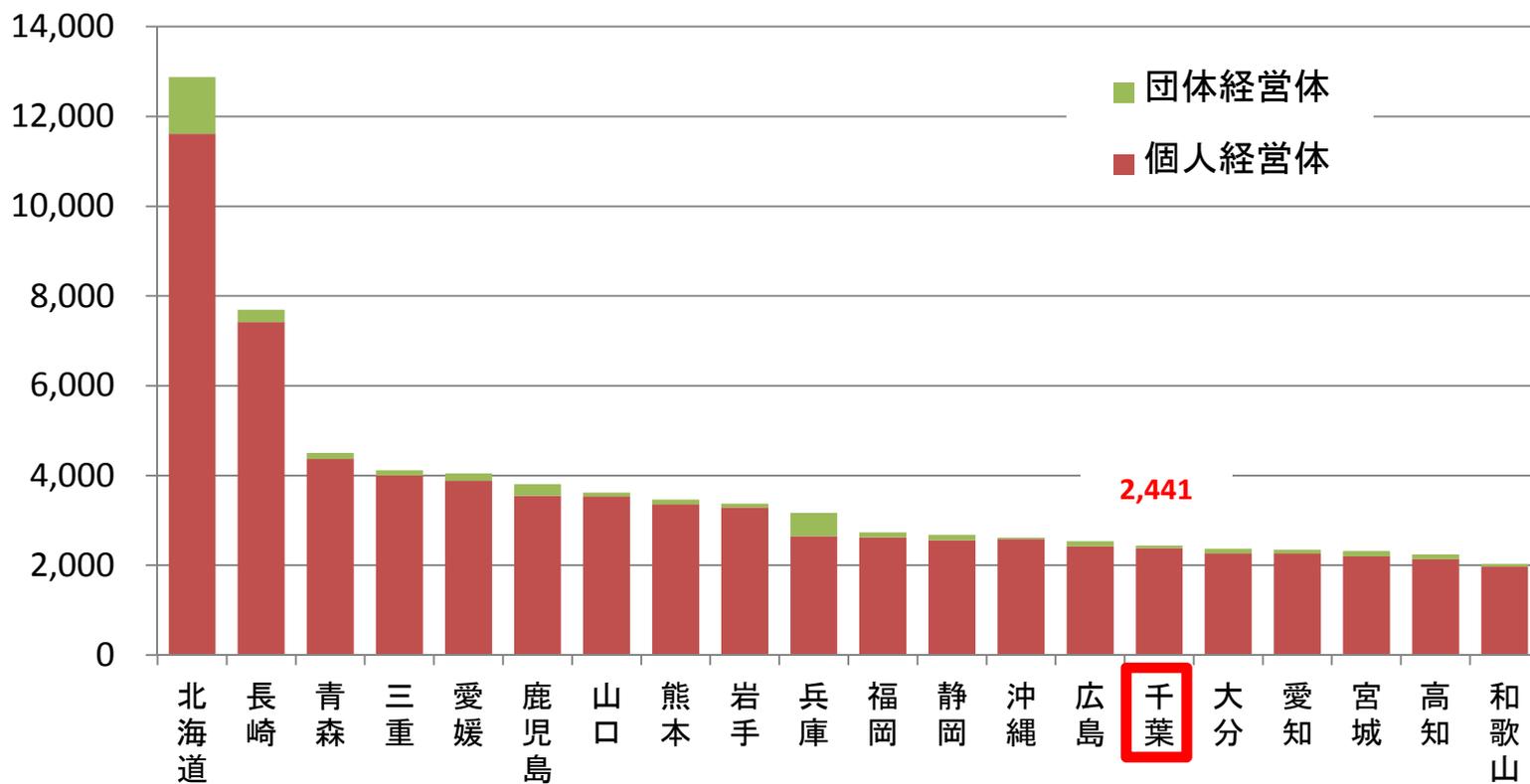
自営は大きく減少。雇われはほぼ横ばい。

漁業就業者数の推移・地区別



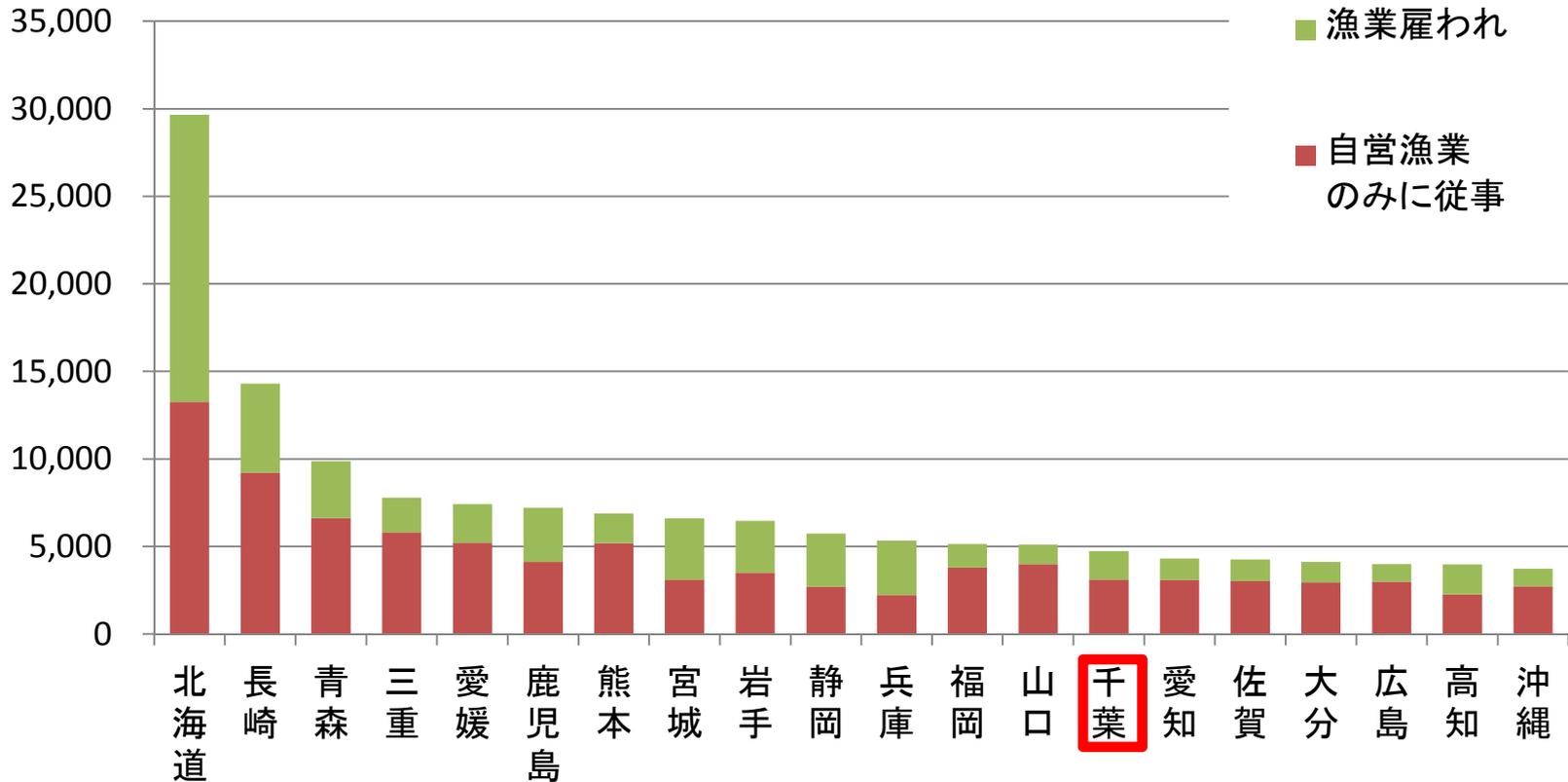
操業環境、社会的要件によって大きく変化。
長期的には内湾地区が大きく減少。

県別の漁業経営体数(H25)①



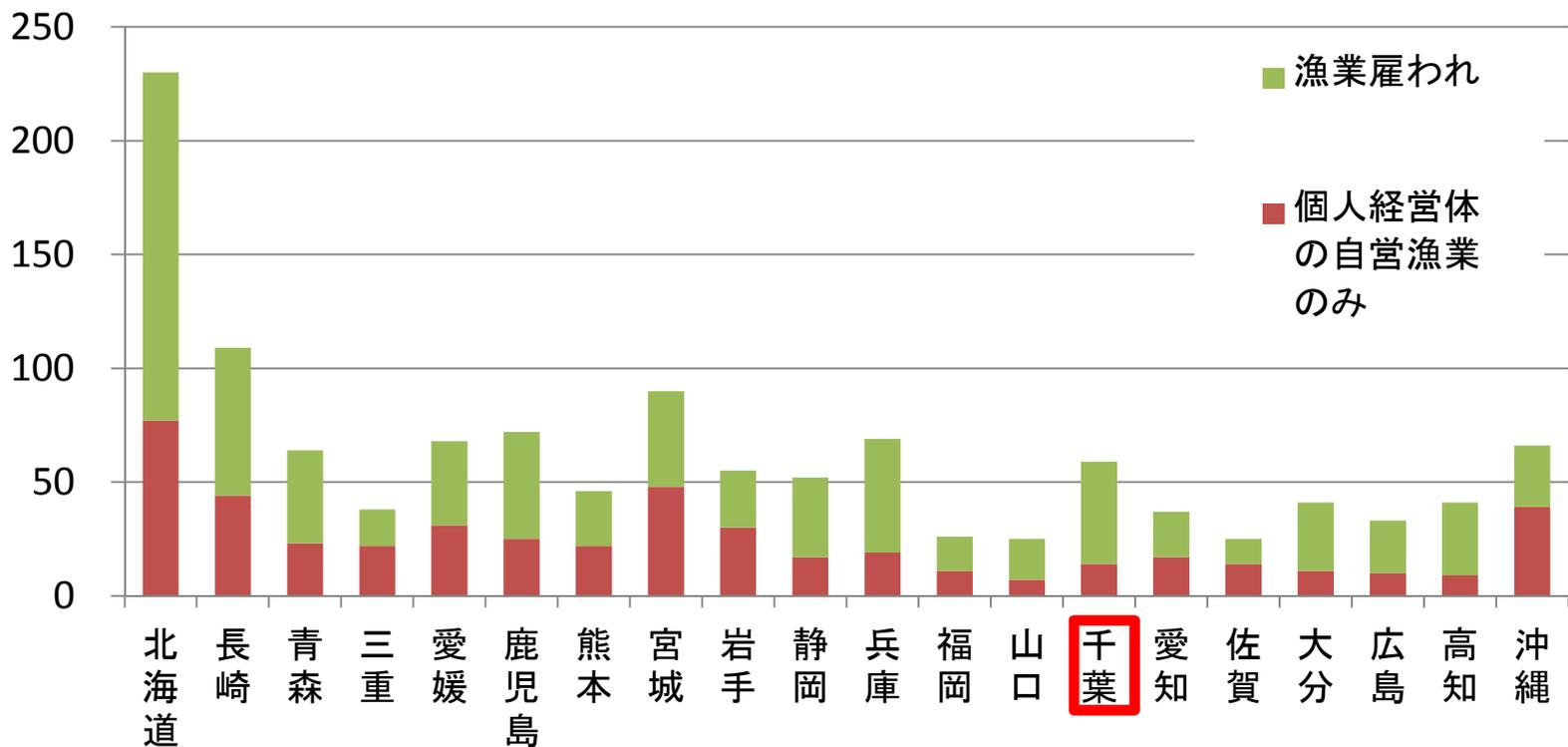
千葉県は全国15位。個人経営が中心。

県別の漁業経営体数(H25)②



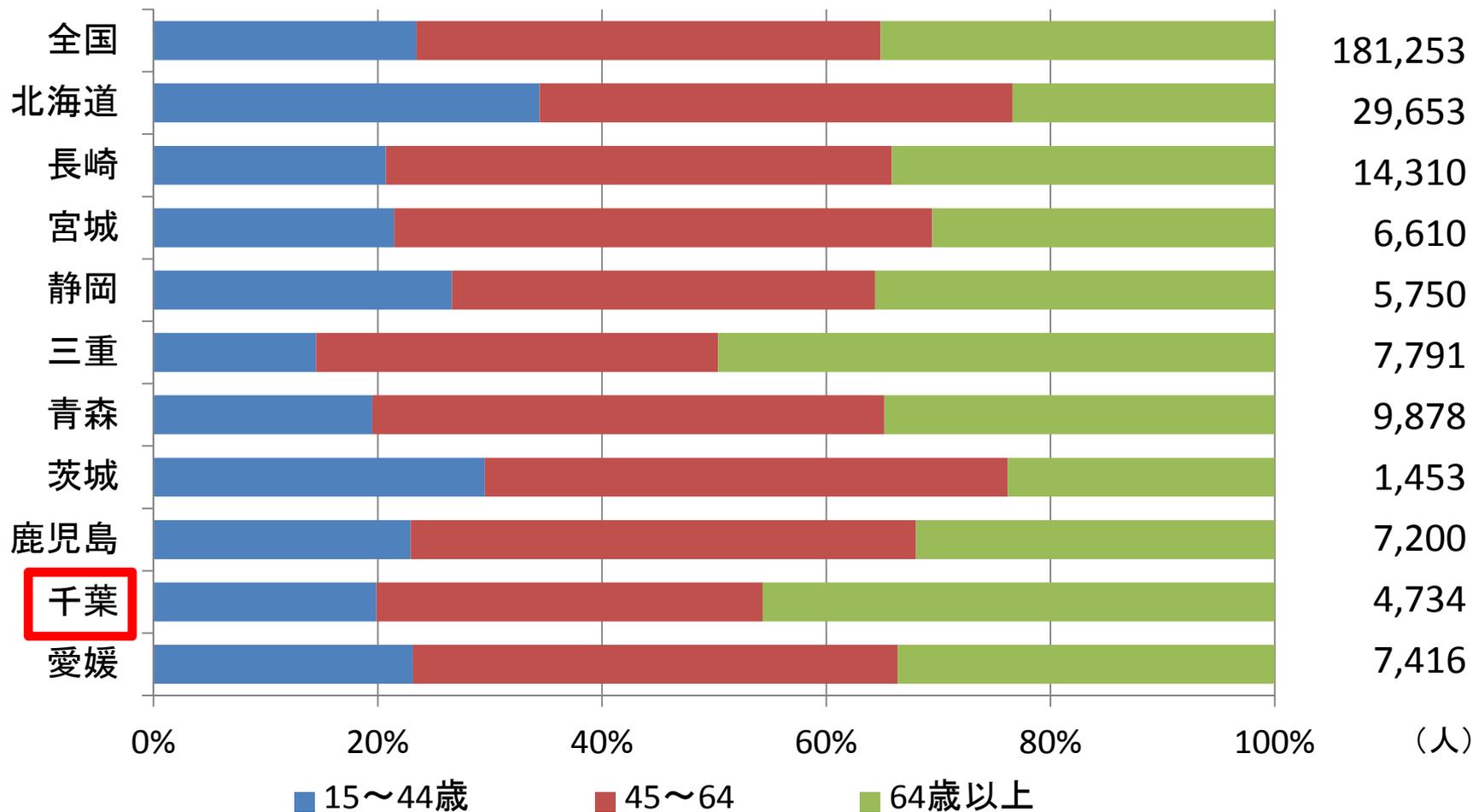
千葉県は他県にくらべ自営漁業従事が主体。

新規就業者の加入状況(H25)



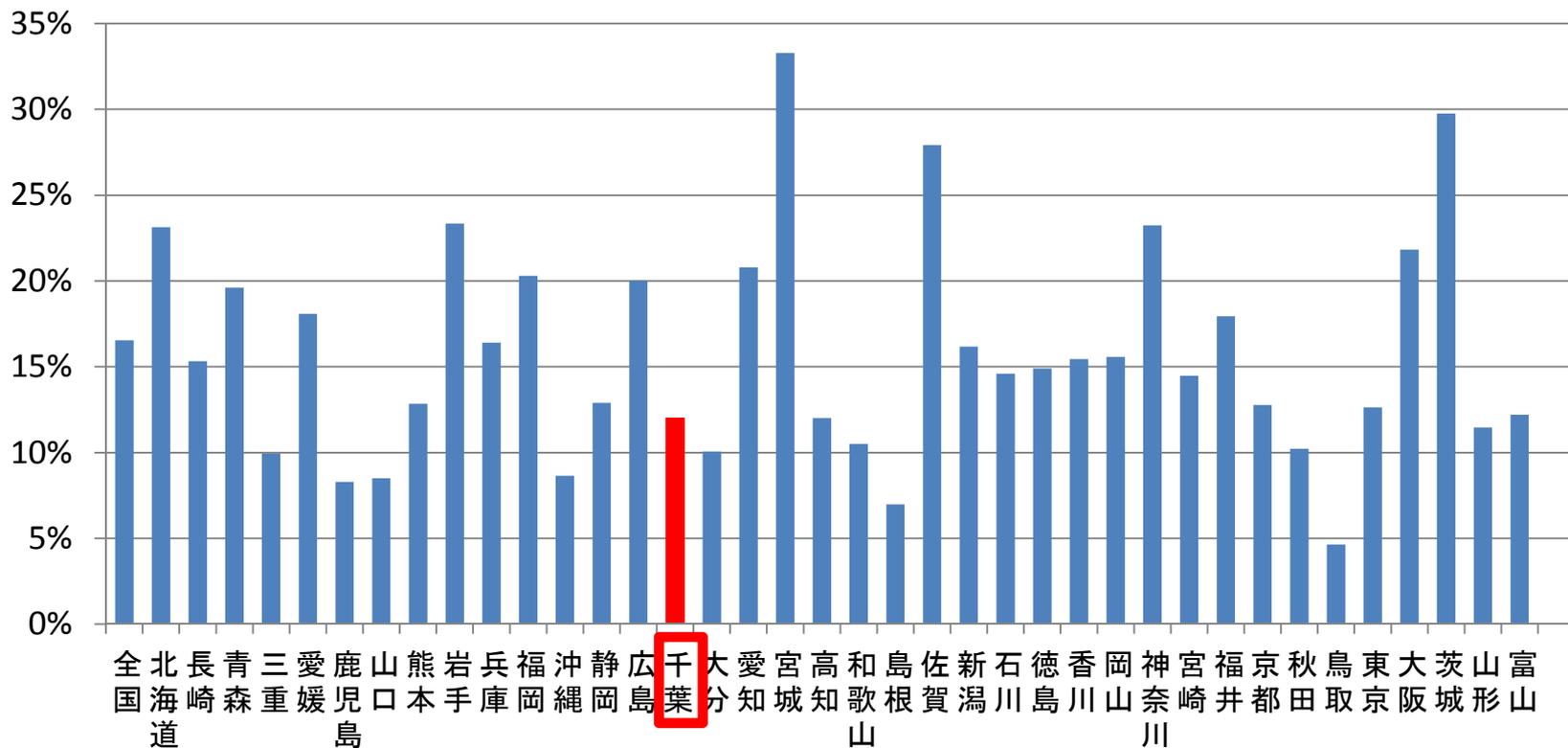
雇われ漁業者の加入が多い。

年齢階層別就業者の割合(H25)・水揚上位県



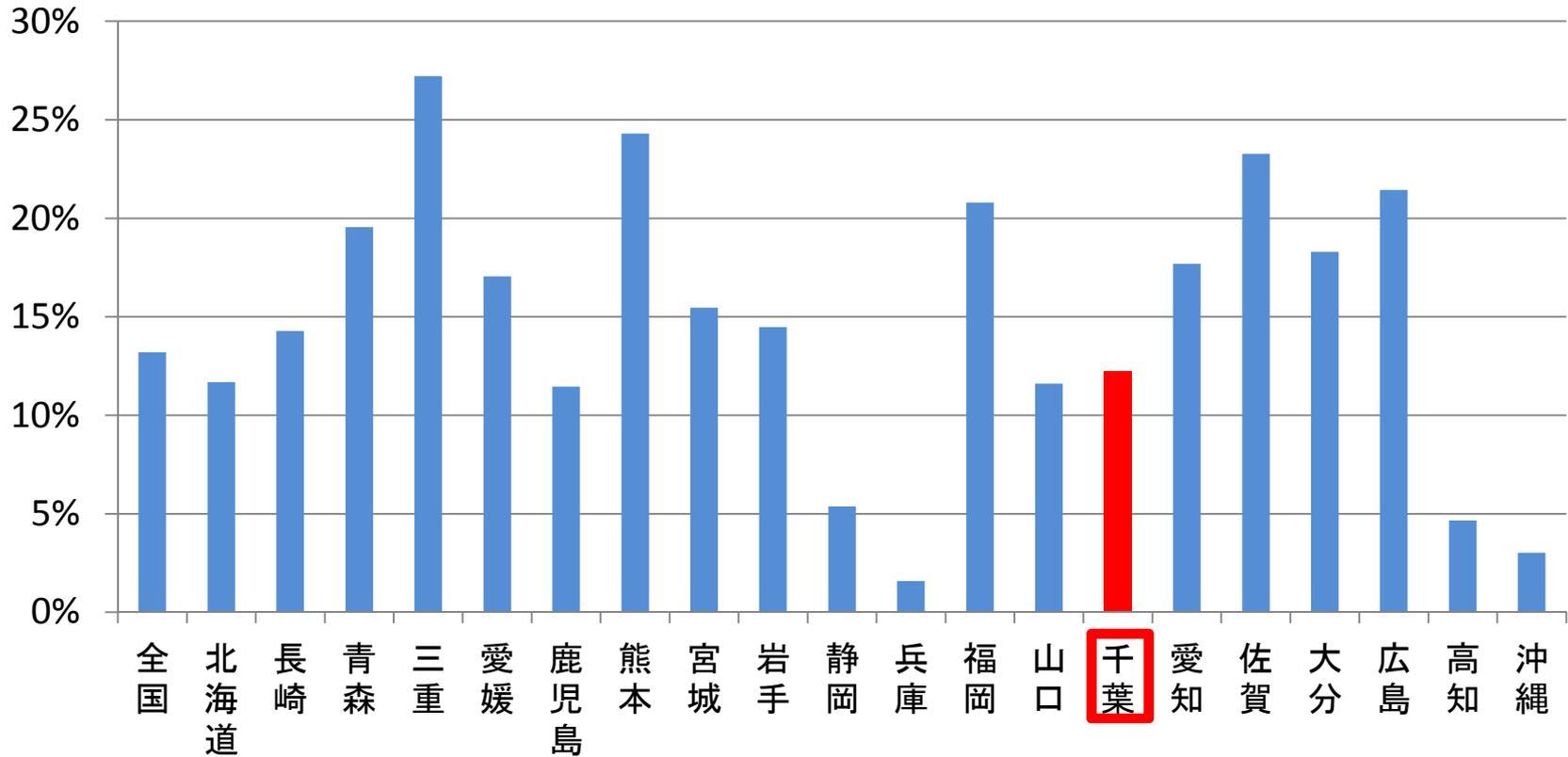
水揚上位県の中では64歳以上の比率が高い。

後継者がいる世帯の割合 (H25)



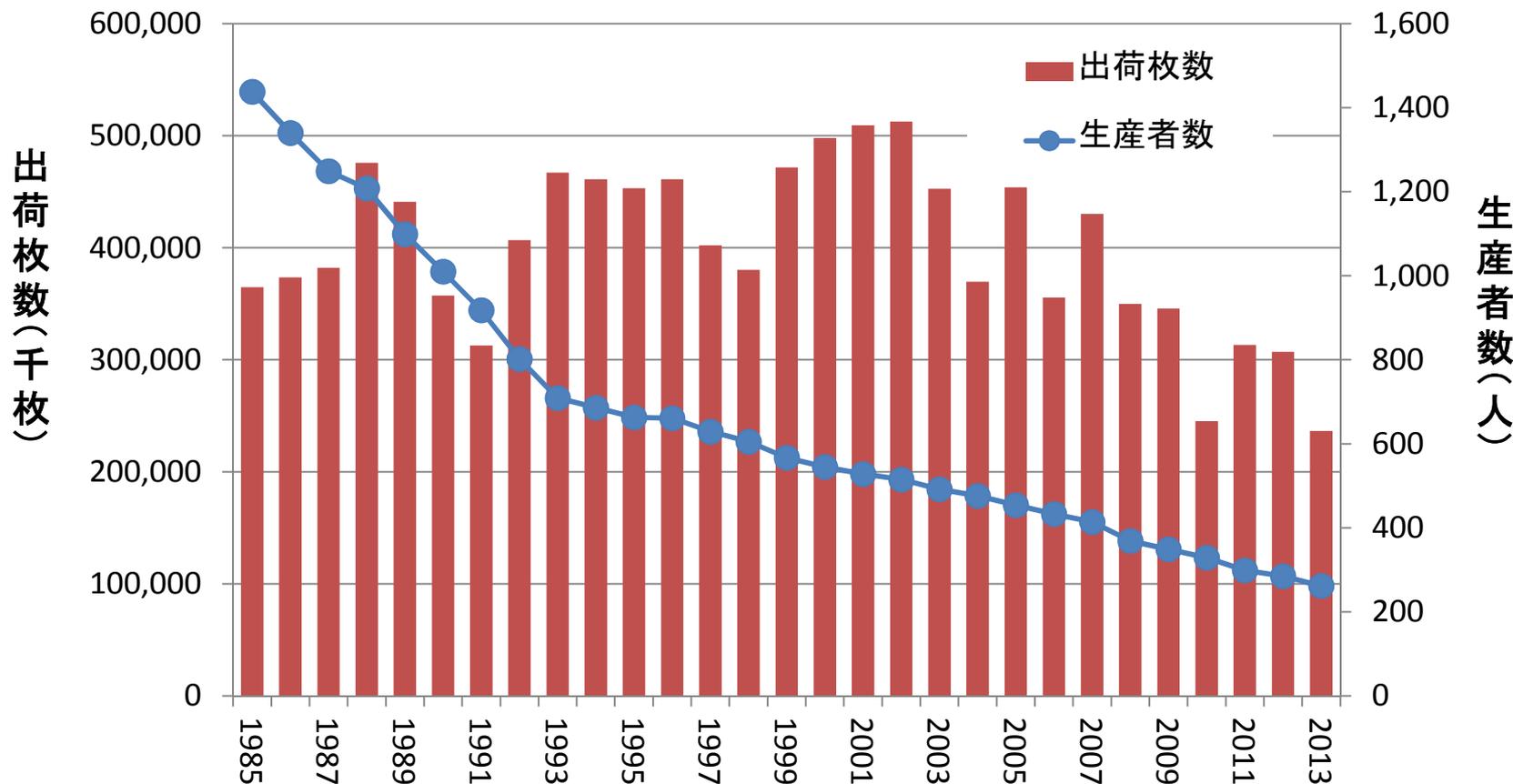
千葉は世帯数に比較して後継者が少ない。

漁業就業者・女性の割合 (H25)



千葉は女性労働力が活躍しにくい？

千葉県のリ生産量と生産者数の推移



2002年までは就業者が減少しても生産は横ばい。
以降は減少。